

事務事業名		国保診療所患者輸送車運行事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 地域医療体制の充実					01	04	01	07	00
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部国保年金課									
	課長名	今野芳彦									
	係名	越喜来診療所	電話	44-2103							
	担当者	新田進	内線								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。 ・主な業務は、綾里、越喜来地区における患者輸送車の運行。 事業費の内容は、患者輸送車運行業務委託料、患者輸送車維持管理費(修繕費、燃料費)である。 ・東日本大震災により越喜来の車両が被災し、綾里地区の1台のみで運行していたが、地域住民からのバス復活を望む声が強いもとの、平成24年7月に支援車両が配置となり、越喜来地区の運行が再開した。 ・綾里診療所の平成8年に購入したマイクロバスがで老朽化して運行に支障が出てきたことから、支援により車両を更新した。前回よりは小さいワゴン車にし、効率的な運行に努めた。					総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計(A)	0		
								人件費			
正規職員従事人数											
延べ業務時間											
人件費計(B)	0										
トータルコスト(A)+(B)									0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 患者輸送車の運行					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
					名称				単位		
					ア	患者輸送車運行日数	日				
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 患者輸送車の運行					イ						
					ウ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 主に三陸地区(綾里・越喜来)の住民					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
					名称				単位		
					カ	行政区域内人口	人				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。					キ						
					ク						
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 早期に適切な医療が受けられる。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
					名称				単位		
					サ	患者輸送車利用者数	人				
					シ						
					ス						
(2) 総事業費・指標等の推移											
投入 量	事業 費	国庫支出金	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
		都道府県支出金	千 円								
		地方債	千 円								
		その他	千 円								
		一般財源	千 円	2,136	2,965	3,964	4,500	4,500	4,500		
	人 件 費	事業費計(A)	千 円	2,136	2,965	3,964	4,500	4,500	4,500		
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時 間	100	100	100	100	100	100		
		人件費計(B)	千 円	400	400	400	400	400	400		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	2,536	3,365	4,364	4,900	4,900	4,900		
		⑤活動指標		ア	日	204	417	478	480	480	480
				イ							
				ウ							
⑥対象指標		カ	人	5,335	5,244	5,186	5,050	4,950	4,850		
		キ									
		ク									
⑦成果指標		サ	人	1,203	2,978	3,536	4,000	4,000	4,000		
		シ									
		ス									

事務事業ID	0304	事務事業名	国保診療所患者輸送車運行事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・綾里診療所（開始当時は病院）、越喜来診療所を開設し、患者の利便性向上を目的とし、患者輸送車の運行を開始した。運行開始年度は不明である。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・東日本大震災にて越喜来診療所の車両が流出し、平成24年7月まで運行を中止していたため利用者数が一時減少したが、車両導入後は利用者数が増加した。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
・高齢者など車で移動できない患者にとって無くてはならないものであり、このまま継続するよう求められている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	旧三陸町内のみでの制度であり、旧大船渡市との関係からは公平とはいえず見直し余地はあるが、三陸地区は公共交通機関が乏しく、患者輸送車の利用者がほとんど高齢者である。 そして、越喜来地区は仮設住宅を回るルートの設定の要望が強かったことから、平成24年7月から仮設住宅を中心とした路線とした。	
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり												
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果													
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☒ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後の事業継続の可否については、公平性の観点からの検討が必要ではあるが、三陸地区には公共交通機関が乏しく、患者輸送車の利用者はほとんど高齢者であるため、一定の配慮も必要である。	☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)			
☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持										
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)														
<table><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
成果	向上			●										
	維持				×									
	低下		×	×										
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等														
震災後、地区によっては居住環境が変化しているところがあり、ルート、時間等を再確認をする。														

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	国保年金課長 今野芳彦

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☒ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由												
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	三陸地区の住民のみの利用であり、他地区との公平性に欠ける面がある。 綾里地区の患者輸送車両が民放テレビ局の支援により小型車両に更新されたことは一定の評価。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり											

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果													
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も事業は継続するが、綾里地区の運行については効率性を再検討する必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)			
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持										
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)														
<table><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
成果	向上			●										
	維持				×									
	低下		×	×										

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項